Ⅱ. 事業評価個表

<u> </u>	<u>~</u>					
番号		交付金事業の名称				
2	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町				
交付金事業実施場所		· 幌延町一円				
交付金事業の概要		原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業を実施します。 具体的には、エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配布、情報収集等です。				
総事業費				交付金充当額	5,779,328	
			5,970,139	うち文部科学省分	-	
				うち経済産業省分	5,779,328	
交付金事業の成	最新で正確な事業内容に関する情報収集による知識の蓄積・普及を促進し、関係機関との的確な連携構築により、地域住民の安全の確保や不安・疑 消を図ることを目的として事業を実施します。					
交付金事業の成	成果目標の達成のため、本交付金を活用した事業により、エネルギー関連施設見学会の町民参加50名、講習会の地域住民参加180名、広報用パンフレット 配布部数300部により、知識の普及を図ります。 なお、エネルギー関連施設見学会においては、見学者の施設理解度を60%と設定します。					
交付金事業の成	事業実施により、最新でより正確な事業内容に関する知識や情報を得、また、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及に努めることにより、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るとともに、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及を図ることができました。 ・広報用パンフレット450部を配布し、知識の普及を図ることができました。 ・懸垂幕を制作し役場庁舎前に掲示したほか、町内の電柱に深地層研究に係るメッセージ広告を掲載し、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図ることができました。 新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点からエネルギー関連施設見学会及び講習会については、実施を見送りとしましたが、来年度以降については、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るため、今年度実施できなかった事業も含めて、継続して事業を実施していきます。					

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
情報収集整理	随意契約(特命)	各新聞社 等	356,802
情報収集整理(給料、手当、共済費)	_	幌延町会計年度任用職員	2,724,060
情報収集整理	随意契約(少額)	ダーシェニカ	10,076
新聞、雑誌等広報	随意契約(特命)	各出版社 等	2,249,680
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(少額)	ダーシェニカ	63,250
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(特命)	一般社団法人日本電気協会新聞部	145,200
連絡調整(旅費)	_	幌延町職員	227,400
連絡調整	_	東日本高速道路㈱	2,860
	5,779,328		

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

無